

# まめなかの

発行責任者  
隠岐広域連合立  
隠岐病院長  
隠岐の島町城北町

## 新規職員紹介



平成 26 年度がスタートし、早 2 ヶ月がたちます。遅くなりましたが、4 月、5 月付け採用職員を紹介します。(順不同) よろしくお願ひします。



ひろし 大科  
ひぐち 樋口 (内)

隠岐病院内科に新任となった樋口です。3 年前に一度隠岐で勤務をさせて頂いたことがありますが、新しく建て変わった隠岐病院と、以前から変わらない素晴らしいスタッフに囲まれ、心機一転頑張ります。隠岐島の散策も楽しみにしています。隠岐の医療が少しでも発展していけるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



こうだい 耕大  
いなた 稲田 (眼)

この度鳥取大学から赴任して参りました。初めて隠岐の島を訪れましたが、海はきれいで、どこからともなく鳥のさえずりが聞こえてきたりと、自然の豊かさに心癒やされており、本島に眼科医は私一人だけで、微力ながら島民の皆様の目が健康でいられますよう精一杯努力致します。どうぞよろしくお願ひ致します。



みほ 穂美  
くろき 黒木 (内科)

この 4 月から、産休・育休明けで、1 年半ぶりに帰ってきました。隠岐の地で授かった子供たちは、隠岐の自然の中で健康やかに育っています。住民としても医師としても皆様のお力になるよう頑張りますので、様々な面でご指導よろしくお願ひ致します。



まさひろ 匡弘  
さかた 坂田 (放射線技師)

4 月から放射線科で勤務している坂田です。以前は滋賀県の病院で働いていました。同じ技師の業務でも違うことが多く、戸惑いながらも日々の業務を頑張っています。早く仕事に慣れて、隠岐の医療に貢献したいです。



しゅんすけ 俊輔  
よしだ 吉田 (作業療法士)

いす。そして、私を育ててくれた隠岐の皆さんにお返しができるばと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

この度リハビリテーション科に勤務することになりました。資格をとるために 4 年間隠岐を離れ、Uターンで帰ってきました。作業療法士 1 年目であり、患者様から学ばせて頂くことも多いと思いますが、日々精進していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。



しの 志乃  
さいとう 齋藤 (床検査技師)

中学生の頃から臨床検査技師という職業に興味を持ち、生まれ育った隠岐の島で働きたいと

考えていました。隠岐に帰ってきて隠岐の方言を聞いたり、地域の方の温かさを感じながら働くことが出来て嬉しく思っています。少しでも隠岐の医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



あべ ゆき  
安部 由紀  
(看護師)

初めての離島生活やしばらく離れていた臨床現場と、不安だらけのスタートでしたが、周囲のみな様の温かいお力添えや励ましのお言葉のおかげで、元気に充実した毎日を送らせて頂いております。祖父母の眠るこの隠岐の島に微力ではありますが、何か恩返しができるようなあしとを考えています。どうぞよろしくお願い致します。



なかまえ ちほ  
中前 千穂  
(看護師)

4月より3階西病棟で勤務させて頂いています。3月まで松江日赤NICUで8年間新生児看護に携わっていました。小さな赤ちゃんの世界からの成人看護は新鮮で多くの新しい学びの毎日です。いつも温かくご指導下さる病棟スタッフに支えられながら一日でも早くいちスタッフとしての役割を果たせるよう頑張ります。10年ぶりの島での生活に癒やされながら、島の患者さんに信頼され必要とされる看護師に近づけるよう努めていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



おおごえ なみ  
大峠 七海  
(看護師)

今年の4月から隠岐病院の四階病棟勤務となった大峠七海です。3年間、松江総合医療専門学校で看護について学び、生まれ育った隠岐の島に戻ってきました。まだまだわからないことが多いですが、これからは隠岐病院の職員の一員として島の医療を支えていきたいと思いま

す。よろしくお願い致します。



おおば ひろこ  
大庭 史紘  
(看護師)

4月から4階病棟で勤務することになりました。大庭史紘です。島根県立石見高等看護学院に地域推薦で入学して、3年間看護について学び、無事卒業しました。生まれ育った島に貢献できるように、スタッフの方々に指導していただきながら、頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



やまだ しほ  
山田 志穂  
(看護師)

4月から4階病棟で勤務することになりました。山田志穂です。浜田医療センター附属看護学校を卒業し、隠岐に帰ってきました。わからないことがたく

さんあり、先輩看護師の方に指導をしていただきながら援助や処置を行っています。少しでも早く仕事を覚えて、地域の皆様の役に立てるように頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

### 新事務部長紹介



さいとう ひでのり  
齋藤 英典  
(事務部長)

4月の人事異動により隠岐の島町からの派遣により、隠岐病院事務部長として勤務することになりました齋藤と申します。隠岐病院が新しくなり、2年が過ぎました。これからも、皆様に安心の医療のご提供に向け、何事も人と人の繋がりが原点であることを心がけ、取組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

救急外来を受診される患者様へ

## 院内トリアージ開始のお知らせ



このたび、救急外来におきまして院内トリアージという制度を導入することになりましたので、皆様にお伝えいたします。

### ①トリアージって？

トリアージとは識別、選別するという意味です。当院の救急外来においては患者様の重症度によって患者様を識別し、重症度の高い方から順番に診察させていただきます。

### ②なぜトリアージをしなければいけないの？

救急外来には非常に重症の方が多く来院されます。救急外来が込み合っていると順番通り診察をしていると、重症の方の病状がどんどん進行してしまう場合も考えられます。皆様に安全な救急医療を提供するための制度で、国が推奨しており全国的に広がりつつあります。

### ③具体的にはどうするの？

救急外来の受付終了時に看護師（トリアージナースといいます）が患者様に簡単な問診を行い、血圧、心拍数などをチェックします。その結果によって、重症、中等症、軽症の3段階に識別させていただきます。重症の方から順番に診察をさせていただきますので、中等症、軽症の方はお待ちいただくことになる場合があります。

### ④重症度について

重症・・・医師がすぐに診察をしなければいけない、生命の危機に瀕した患者様

中等症・・・医師が早期に診察をしなければいけない重篤な患者様

軽症・・・生命の危機にかかわる可能性の低い患者様

中等症、軽症の方は診察をお待ちいただく場合がございます。

院内トリアージについてご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

何かご不明な点などございましたら、看護師または救急外来担当医師にご質問ください。



# 隠岐病院ボランティア「筍の会」

たけのこ

## メンバー募集中です。



みなさん、こんにちは。隠岐病院ボランティア「筍の会」の青砥です。活動は、新病院開院と同時にスタートし、外来案内や車いすの介助を主な活動としています。

私たちの活動を始めるきっかけは、隠岐病院絵画ボランティアでした。隠岐の島町の小中学生の生徒さんや、有志の方々の絵や書を院内に掲示することで、患者さんをはじめ職員や絵をご家族からも好評を得ております。

今後は県内のボランティア先進地との交流などを通して、他地域で行われている住民活動を参考に、院内活動だけでなく、隠岐の島町に必要な地域医療を守る住民活動に繋げることができればと考えています。

又、ご一緒に活動していただけるメンバーを募集中です。この活動をみなさんとご一緒にできたらと思いますので、どうかよろしくお願ひします。

隠岐病院ボランティアの会  
会長 青砥宏雄

連絡先  
隠岐病院ボランティア「筍の会」

副会長 脇 立夫

携帯TEL  
090・7504・4109

## 歯科口腔外科の受診を 希望される患者さんへ

隠岐病院歯科口腔外科は、島根大学医学部歯科口腔外科学講座からの歯科医師派遣のもと、口腔がん治療、インプラント、矯正、顎関節症など、口腔外科に特化した診療を行っています。

一般の歯科治療につきまして、原則として他の歯科医院等からの紹介状をお持ちの方、介護保険施設等の入所者、入院患者さん及び救急患者さんを対象としております。

診療時間の制限、また通常は歯科医師1名で対応していることもあり、予約のない患者さんには後日の診療とさせて頂いただったり、診療後に痛み・ハレ等が落ち着いた場合は、島内の町立歯科診療所や民間の歯科医院へご紹介する場合がございます。

病院の歯科口腔外科としての特殊性をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

隠岐病院歯科口腔外科医長

## お願い

最近、病院駐車場廻りにペットの糞の放置や、ゴミが捨てられています。患者様の快適なご利用のために、ペットの糞の放置及びゴミ等を捨てないようご協力お願いいたします。

## あとがき

東日本大震災が発生した時、歌で被災された方を励ます番組の中で、松任谷由美さんがおっしゃっていました。

「ふるさとを後にしなければならぬ人を思うと胸がつぶれる思いがします。ふるさとが、日本が大好きだから、もつと一人一人強くなりたい。強くなれば明るくいられるし、強くなれば人を憂いて優しくなれます。この国はここで大きく変わろうとしています。変わってゆくことを恐れない強さと、変わってはいけないもの、変わらざるに強さを一緒にもって、強いすばらしい国に変わっていきましよう」：と。

震災から、3年。まだまだ復興はままなりません、日本はどこに向かおうとしているのでしょうか？